

# 市政の執行状況

平成21年第2回市議会定例会が、5月29日から6月17日まで開催され、市長が開会初日に3月以降の市政執行の概要について報告しました。その内容を「市民が育む 品格と活力のあるまち やしお」の実現を目指す、市基本構想の6本の柱に分類してお知らせします。

## 1 かいてき 新時代を支える 都市の形成

▼つくばエクスプレスの平成20年度における1日平均乗車人員は、八潮駅で1万2600人、つくばエクスプレス全体では25万7600人。  
▼八潮南部3地区の土地区画整理事業における5月1日現在の仮換地指定率は、西地区が95・9パーセント、中央地区が63・1パーセント、東地区が69・6パーセント。  
▼市民生活における快適な道路環境を維持するため、主要道路の路面清掃などの業務委託を5件発注。  
▼稲荷伊草第二、鶴ヶ曾根・二丁目、西袋上馬場地区、大瀬古新田地区の各地区において、杭埋設および点検測量業務委託を発注。  
▼効果的な内水排除を図るため、市内の排水機場のポンプおよび機械設備の点検業務委託を2件発注。  
▼平成20年度における有収水量は、998万6842立方メートルで、前年度と比較して17

## 2 やすらぎ 心やすらぐ安全な 生活環境の形成

▼1月から4月までの火災発生件数は7件で、昨年の同時



交通安全指導

▼4月3日、災害応急対策および災害復興対策を円滑に実施するため、埼玉県電気工事工業組合と災害時における電

万7877立方メートルの減少と比較して4件減少。  
▼5月24日、消防署で、平成21年度の新人消防団員15人に対し新入団員研修を実施。  
▼救急出動件数は、1月から4月まで1019件で、そのうち交通事故によるものは、154件、昨年の同時期と比較して5件減少、交通事故は同件数。  
▼4月5日、草加駅東口のアコスイバント広場で、春の全国交通事故防止運動の出陣式を実施。また、4月7日、中央二丁目交差点で、交通安全対策協議会の各団体とともに交通安全指導を実施。  
▼平成20年度の水道料金の調定額は、口座引後の額で18億6068万円で、前年度と比較して5074万円の減少。  
▼浄配水場の適正な機能維持管理を図るため、中央浄水場ろ水ポンプ更新等の工事・修繕を3件、浄配水場電気設備点検等の業務委託を7件発注。  
▼配水管布設替等の工事を5件、配水管工事に伴う舗装復旧工事を4件、調査・設計および施工監理業務委託を4件発注。  
▼市民、事業者、市との協働による景観や都市計画を含めた総合的なまちづくり条例を制定するため、(仮称)まちづくり条例策定支援業務委託を発注。  
▼目標年次を平成37年度とした「八潮市都市計画マスタープラン」を策定。

## 3 ふれあい 明るく生きがいに みちた社会の形成

▼4月1日から従来の「乳幼児医療費」を「子ども医療費」に名称を改め、入院に係る医療費支給対象を中学3年生まで拡大。  
▼障がいのある方の心身の状態を総合的に表す障がい程度の区分について審査、判定を行う「障害程度区分審査委員会」5人を4月1日付けで委嘱し、5月27日に審査会を開催。  
▼4月24日、子育て応援特別手当の対象となる1124世帯(対象児童数1185人)に申請書を発送し、4月27日から受け付けを開始。  
▼4月3日に8カ所の市立保育所での入所式を行い、620人の児童が入所。  
▼5月16日、エイトアリーナで健康・スポーツ都市宣言記念事業として、社会福祉協議会との共催により、「第37回

気設備等の復旧に関する協定を締結。  
▼5月22日、地域防災計画に基づく情報伝達・登庁訓練として、職員参集訓練を実施。  
▼4月15日から4月24日にかけての8日間、市内15カ所で狂犬病予防注射を実施。  
▼市民と行政の協働によるまちづくりを推進するため、31カ所の公園について、地元19町会自治会等と維持管理契約を締結。  
▼市営住宅維持管理のため、市営住宅管理システム保守点検および給水ポンプ保守点検植木手入れ等の業務委託を発注。  
▼平成21年度から23年度までを計画期間とする「第4期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定。  
▼国保被保険者1万8207人、後期高齢者4526人に対して、国民健康保険特定健康診査および後期高齢者健康診査受診券を発送。  
▼4月21日、第18回やしお市民まつり実行委員会が設立され、10月25日に開催することを決定。

## 4 ちから 活気あふれる 産業の形成

▼埼玉県緊急雇用創出基金を財源として実施する「緊急雇用創出基金事業」として、1月の第1次募集で採択された2件に加え、3月24日に第2次募集による1件が採択され、合計3件の事業が採択。  
▼4月20日から八潮市役所駅前出張所内の展示コーナーで、今年度新たに「八潮市特産品等開発事業推進実行委員会」が認定した推奨品26品を展示。

八潮市高齢者と障がい者のスポーツの祭典」を開催。  
▼妊婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図るため、妊婦健康診査の公費負担回数を5回から14回に拡充し、4月から受診券を交付。  
▼介護予防施策として、5月25日に2100人の特定高齢者候補者に生活機能評価受診券を発送。  
▼健康・スポーツ都市宣言記念事業の一環として作成した「健康づくりいきいきカレンダー」を配布。  
▼平成21年度から23年度までを計画期間とする「第4期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を策定。  
▼国保被保険者1万8207人、後期高齢者4526人に対して、国民健康保険特定健康診査および後期高齢者健康診査受診券を発送。  
▼4月21日、第18回やしお市民まつり実行委員会が設立され、10月25日に開催することを決定。

## 5 はぐくみ 明日の八潮を担う 人づくり環境の形成

▼5月1日現在の児童・生徒数は6794人で、学級数は226学級で、昨年と比較し児童・生徒数は7人の減少、学級数は3学級の増加。  
▼八幡公民館で、3月10日、11日の2日間パソコン教室を、3月21日に、環境講座として「子どもも大人も楽しいふるしきの包み方」を開催。  
▼3月22日、彩の国くまがやドームで、「第27回彩の国21世紀郷土かるた県大会」が開催され、大曾根中子ども会チームが団体の部において準優勝。  
▼4月25日から5月10日まで、資料館で、「節句人形展」を開催。5月1日から5月30日まで、第4回埼玉県文化財巡回展「埼玉の遺跡 水とともに」を開催。  
▼3月7日、やしお市民大学および大学院卒業証書授与式



八潮市役所駅前出張所内展示コーナー

前出張所内の展示コーナーで、今年度新たに「八潮市特産品等開発事業推進実行委員会」が認定した推奨品26品を展示。

## 6 すいしん 市民に開かれた計画的な 行政推進体制の形成

▼広報活動の充実を図るため、4月号から広報やしおの配置箇所を5カ所増設。  
▼4月1日付けで、一般事務職13人、土木技師3人、建築技師1人、消防士4人、栄養士1人の合計22人の市職員を新規採用。  
▼4月27日から定額給付金申請の受け付けを開始し、5月18日から銀行など、口座への振り込みを開始。



ヨ一ガ教室

企画経営課 ☎8855

を行い、第5期大学生26人、第2期大学院生13人が卒業。  
▼5月9日、平成21年度やしお市民大学および大学院の入学式を行い、第7期大学生23人および第3期大学院生5人で新学期をスタート。  
▼平成21年度から27年度までを計画期間とする「第3次八潮市男女共同参画プラン」を策定。  
▼市民の健康維持、増進を目的に、健康・スポーツ都市宣言記念事業として、水泳、ヨ一ガ等の各教室を開催。